

小中一貫教育推進だより

つながる



平成 25 年 8 月 20 日 No. 28

十日町市教育委員会学校教育課



底 力

学校教育課小中一貫教育推進係
嘱託指導主事 平野久美

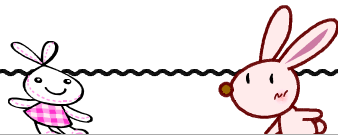
「秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」・・・連日の猛暑が報道されていた8月7日の立秋の日。私は風の音ならぬ、虫の変化に驚かされたのです。庭の花の先端に、アキアカネなののでしょうか、赤いとんぼが止まっていたのです。確実に季節は巡っているのです。

そんな日の翌日、十日町市小中一貫教育「モデル中学校区合同発表会兼教職員全員研修会」を行いました。翌日、400枚以上のアンケートを読ませていただきました。午前中かかっても終わらないほどの量で、視力の衰えが進みつつある私の目は、かすみ、しょぼしょぼでした。しかし、一気に読まずにはいられませんでした。それは、皆さんが書いてくださった声に対する有難さからです。多くの、実に多くの方々がコメントを寄せてくださいました。その内容は多様ですが、当日の運営や小中一貫教育についての意見・感想です。仕事柄、これまでアンケートの集約をする経験は少なからずありましたが、これほど多くの割合でコメントをいただけたことは、そう多くはありません。ましてや、狭い座席に長時間拘束された上に終了時刻が遅れ、一刻も早く帰りたい状況がある中でのご記入です。

かのマザーテレサは「愛の反対語は、憎しみではない。無関心である。」と言いましたが、私は、当地の教職員・参会の地域の方々の、教育に対する関心の高さ、子どもたちへの愛情の深さを感じたのです。有難くも、嬉しい時間でした。こちらの不手際等で至らない点も多くあったと思いますが、皆さんからいただいた声を、今後の十日町市の小中一貫教育の充実に生かしていかなくてはという思いを新たにしたところです。

時は夏季休業中。小中一貫教育についての話し合いを計画している中学校区も多いと思います。8日の研修会でそれぞれが感じたこと、考えたことを、ぜひ自中学校区での話し合いに生かして欲しいと思います。いつもよりは少し時間的余裕のあるこの時期、子どもを真中に据え、実態からどんなことが大切なのかじっくり考える機会が持てるといいなあと思います。

私たち教職に就いている者は、毎年毎年、幾季節が巡ってきても、目の前に子どもがいます。しかし、現在目の前にいる子どもたちとの出会いは一期一会です。アンケートの反応に、当地区の皆さんの底力を感じ、小中一貫教育の推進で子どもたちにとってのより幸せな出会いが実現する予感がしているこの頃です。



しゅっちゅう一貫 耳より情報

＜「モデル中学校区合同発表会兼教職員全員研修会」終わる＞

市内教職員全員が、小中一貫教育についての理解を深め、平成 26 年度から全ての中学校区で本格実施する小中一貫教育の推進に役立てるための研修会が終了しました。試行最終年度の今年、合同発表会では、モデル中学校区がこれまでの取組から、モデル外の中学校区に是非伝えたいということを中心に発表しました。後半のパネルディスカッションでは、「子どもたちのより良い成長を目指した小中一貫教育の在り方」をテーマに、パネリストの皆さんから、日頃考えている思いを伝えていただきました。



当日の午後は、多数の十日町市教職員と十日町市・津南町の地域の方々が一堂に会し、共に小中一貫教育について考える日となりました。お疲れさまでした。また、ご多用の中、実践のまとめをしてくださったモデル中学校区の皆さん、ご苦勞をいただいたパネルディスカッションの関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

----- アンケートから参会者の声の一部を紹介します -----



＜パネルディスカッション＞

個々の教員が共有・共通認識をすることは大切である。その一方で個々の教員の独自の良さを発揮することも大切である。共有と独自性。そのバランスをうまく図っていくことが持続可能な小中一貫教育の鍵を握ると考える。

一堂に会することがほとんどなかったので、小中一貫教育についての各中学校区での取組が分かり参考になった。キーワードは「共通理解」だと感じた。来年度はモデル中学校区以外の取組が聞きたい。

一貫教育というからには、松沢先生がお話しされたように、学力観を一貫させることが大事だと思った。何を貫くのか、はっきりさせ、全教職員で一貫性をもった取組としたい。

取組発表、パネルディスカッションの関係者の皆さん、参考になる話が聞けて有難かったです。中学校区で共通取組事項を絞り込んで、取り組んでいきたい。

アンケート記入や、少人数グループで話し合うことによって、小中一貫教育のハードルについて自分なりに向き合える機会を持てたことが有難かった。



＜参会者意見交流＞



小中一貫教育にかかわる9月の活動予定



毎月ここに掲載している活動予定は、どなたでもその活動を見ていただけるように紹介しているものです。時間を見つけて、ぜひお出掛けください。その際には、当該学校へ一声掛けてからお出掛けください。

日 時 <内 容>	会 場	見 どころ
3日 (火) <乗り入れ授業> 16:00 ～ 17:00	松之山町民グラウンド	・松之山中学校区の小学5・6年生が一堂に会し、中学校陸上部の生徒と共に中学校の体育教師から陸上競技の指導を受けます。
3日 (火) <会議> 15:30 ～ 16:30	松之山自然休養村	・松之山中中学校区の全児童・生徒の夏休み課題である「あいさつ標語」の選定を行います。優秀作品は学区に配布し、あいさつ運動の充実を図ります。
3日 (火) <推進会議> 9:30 ～ 10:30	上野小学校	・川西中学校区の小中一貫教育について、1学期の振り返りをもとに、2学期の取組の見直し・改善についての検討を行います。
3日 (火)・4日 (水)・5日 (木) <あいさつ運動> 7:45 ～ 8:00	拡大中学校区の各小学校	・拡大中学校区の中学生が、出身の小学校に出掛けて小学生と共にあいさつ運動を展開します。今回は中学3年生が出掛けます。
6日 (金) <交流活動> 10:30 ～ 12:00	田沢小学校	・中里中学校区の3小学校の3・4年生が、田沢小でミニスポーツ大会を行い、交流を深めます。
7日 (土) <交流活動> 8:45 ～ 12:15	下条中学校グラウンド	・小学6年生が、中学校の体育祭に参加します。入場行進・開会式・午前の競技の一部に参加します。今年は合同種目として玉入れ、大玉送り、綱引きを計画しています。また、小学生が、中学生の全校種目の応援をします。
7日 (土) <交流活動> 10:45 ～ 11:00	川西中学校グラウンド	・川西中学校区の保育園児、小・中学生、大人が合同でチームを作り、地域交流種目「玉入れ」をします。昨年までは6年生が対象でしたが、今年度は枠を広げて交流します。
7日 (土) <交流活動> 午後	松代中学校グラウンド	・松代中学校の体育祭に小学生が参加します。参加種目は、中学校生徒会と小学校児童会の代表が合同で企画し運営します。小・中学生が協力してゴールを目指す、交流の様子をご覧ください。
12日 (木) <交流活動> 14:00 ～ 16:30	中里中学校	・中里中学校区の3小学校の6年生が一堂に会し、中学校陸上部の生徒から陸上競技の実技指導を受け、交流を深めます。

14 日 (土) <交流活動> 8:30 ~	川西中学校 グラウンド	・川西中学校区の 3 小学校の 5・6 年生が一堂に会し、中学校陸上部の生徒から陸上競技の実技指導を受けます。
17 日 (火) ~ 24 日 (火) <あいさつ運動> 7:45 ~ 8:05	下条中学校区 ①下条中学校前 信号付近 ②下条小学校前 信号付近	・下条中学校区の小・中学生が縦割り班ごとに日を割り振り、左記の場所で挨拶を行います。
17 日 (火) <交流活動> 14:50 ~ 15:35	松代小学校	・松代中学校区の小学 6 年生が、松代小学校で専門講師から共に、身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高めるコーディネーショントレーニングの指導を受けます。
18 日 (水) <研修> 14 : 00 ~ 14 : 45	松里小学校	・第 2 回目の松之山中学校区の小・中合同授業研修会です。算数の授業を公開します。
18 日 (水) <交流活動> 15:15 ~ 16 : 30	水沢中学校	・水沢中学校区の小学 5・6 年生が、一堂に会し、共に中学校の体育教師から陸上競技の指導を受けます。
19 日 (木) <体験入学> 13:45 ~ 16 : 30	中里中学校	・中里中学校区の小学 6 年生が、中学校で中学生と一緒に学習します。また、その後、部活動体験を行います。
20 日 (金) <交流活動> 10 : 30 ~ 12 : 00	田沢小学校	・中里中学校区の 3 小学校の 1 年生が一堂に会し、共に仲間づくりレクリエーションを行い、交流を深めます。